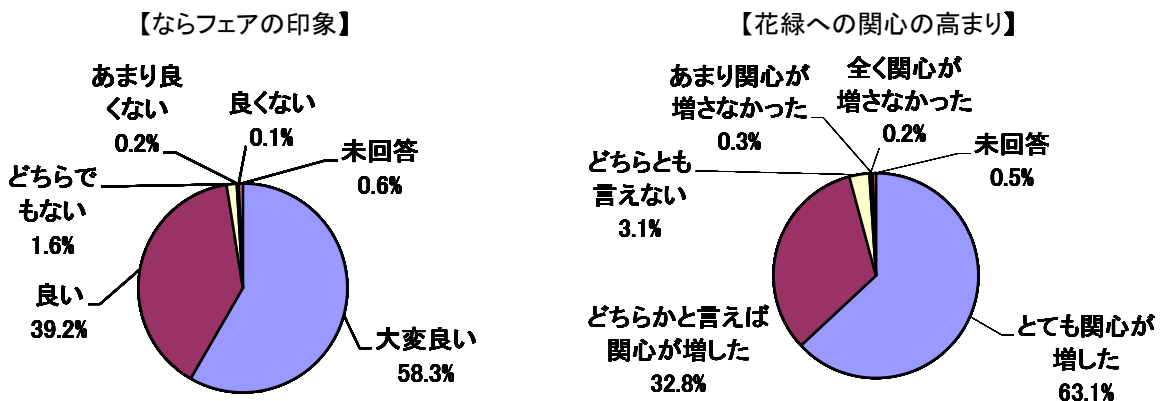


第27回全国都市緑化ならフェア（やまと花ごよみ2010） 開催結果の概要

I. フェアの概要

- 開催テーマ 未来へつなぐ「花のもてなし」
～ やまと青垣からの贈りもの ～
- 主催者 奈良県、財団法人都市緑化基金
- 会期 平成22年9月18日(土)～11月14日(日) 58日間
- 会場
メイン会場：県営馬見丘陵公園(北葛城郡広陵町・河合町)
テーマ会場：平城宮跡会場、藤原宮跡会場、国営飛鳥歴史公園会場
サテライト会場：えきまえ会場、つどい・まちなか会場、歴史のまちなみ会場
- メイン会場来場者数 430,190人（目標数 400,000人）



※来場者アンケート調査結果より

II. フェアの内容

1 屋外主催者展示

- ・ダリア園は、奈良県が球根生産量日本一であるダリアを、約200品種、約5000株を植栽。
- ・馬見花苑は、波を意匠化した「青海波」をモチーフとした、約65,000株の大花壇。



ダリア園



馬見花苑

2 屋外出展

・自治体、企業・団体、県内学校、県民等による庭園・花壇の出展。(181区画)



自治体出展 (21区画)



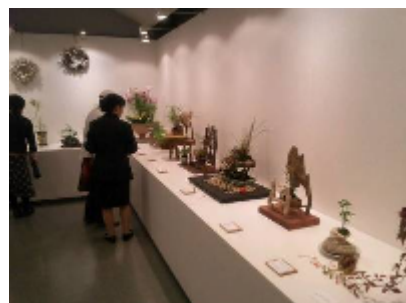
企業・団体出展 (110区画)

3 屋内主催者展示及び屋内出展

・ダリアのテーマ館では、ダリアの資料展示や県名産である柿の展示。
 ・花人アートギャラリー(公園館)では、県民参加による生け花、フラワーデザイン、押し花アート、山野草・盆栽等を展示。



ダリアのテーマ館



花人アートギャラリー(18展示)

4 行催事

区 分	主 な 内 容
内覧会	9月16日 プレスプレビュー及び地元住民等を招待
公式行事 (花なら広場) ・開会式、閉会式 ・全国都市緑化祭	9月18日、11月14日 10月15日 秋篠宮同妃両殿下御臨席
ステージ催事 (花なら広場)	チェーンソーアート、チェーンソーカービング、馬見丘陵デー(広陵町、河合町の日)等
花緑体験催事 (花なら広場)	花なら体験教室 93講座
賑わい催事 (会場内)	ダリア花じゅうたん、ウォークラリー、足湯等



全国都市緑化祭 (10月15日)



ステージ催事(花なら広場)

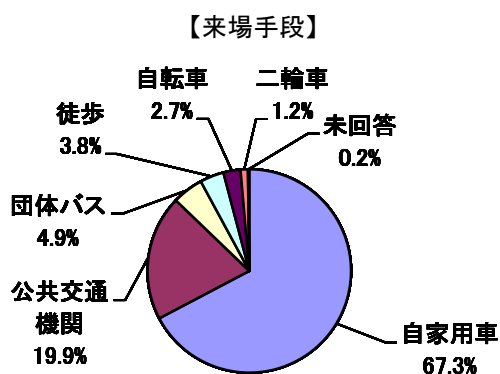
5 交通輸送

・フェア会場周辺部に臨時駐車場を最大2, 850台確保するとともに、公共交通機関の利用を促進。

交通利用結果一覧

区分	累計	一日平均	最多日
自家用車(台)	110,450	1,904	4,440 (11月3日)
団体バス(台)	771	13	37 (10月29日)
臨時バス利用者(人)	45,872	791	2,450 (11月3日)

注)期間中、中央ターミナル(公園館)と近鉄五位堂駅及び近鉄池部駅の間で臨時バスを運行。



※来場者アンケート調査結果より



池部駅～公園館 臨時バス運行

6 会場運営

・会場内では、来場者にもてなしの心でサービスを提供。

区分	主な内容
会場サービス	案内所 6カ所 (総合案内所、公園館案内所、緑道・東・西・五位堂案内所)
飲食物販 (フードコート)	飲食物販6店舗、花緑販売1店舗、地元物販1店舗、飲料自販機6台、 ケータリングカー(土日祝日)
ボランティア	ボランティア実人員 : 484人 会場見どころ案内 : 延229人(1日平均 4人) 会場サービス : 延1,350人(1日平均23人) 植物管理 : 延654人(1日平均11人)



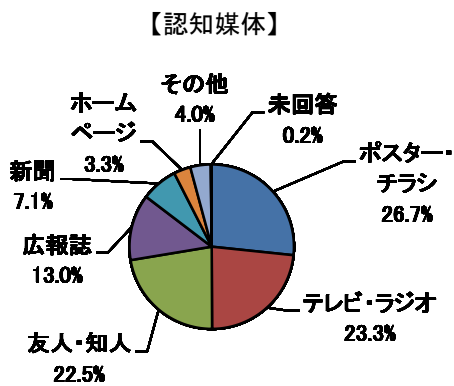
総合案内所におけるボランティアによる車いすの貸出サービス



フードコート

7 広報宣伝

区分	主な内容
印刷物系	ポスター : 23,700枚(1号~4号)、チラシ:380,000枚(1号~4号)
交通広告系	ラッピング車両 : 1編成2両(近鉄大阪線)、駅貼りポスター、鉄道ドアステッカーなど
マス広告系	ラジオの放送番組内での告知、雑誌等での広告掲載。
その他	ホームページ、PRキャンペーン等



※来場者アンケート調査結果より



ラッピング電車(近鉄大阪線)

8 テーマ会場・サテライト会場

- ・平城宮跡、国営飛鳥歴史公園、藤原宮跡をテーマ会場とし、空間特性を活かした修景演出を展開。
- ・サテライト会場として、えきまえ会場、つどい・まちなか会場、歴史のまちなみ会場、計31ヶ所を設定。



平城宮跡会場



えきまえ会場(近鉄五位堂駅)

Ⅲ. フェアを契機にした取組

- ・幹線道路等で、各土木事務所ごとにプランターや花壇による修景を実施。また、地域の特色を活かした花の催しも実施。



県道大和高田斑鳩線(法隆寺IC付近)



宇陀松山華小道(宇陀市)